



清流清く

学校だより第5号

令和6年8月28日(水)

関川村立関川中学校

全力を尽くした先には・・・ ～2学期始業式 講話より～

校長 櫻井 雅之

8月21日(水)に村上市教育情報センターで、「わたしの主張 村上・岩船地区大会」が行われました。関川中学校代表として3年佐藤萌加さんが、一人一人の個性の尊重、多くの個性と個性が混ざり合い、新たな可能性が生まれるすばらしさを堂々と発表しました。また、他校の生徒の発表でも、鋭い視点で純粋な思いからあふれ出る主張に、様々なことを考えさせられました。とても感動するとともに、ここに至るまで、文章を練り直すなど推敲を重ね、発表の練習に取り組んで努力してきた萌加さん始め発表者の皆さんに敬意を表します。

さて、今日は「全力を尽くす」というテーマで話します。その前に、限界という言葉を知ると、皆さんはどんなことを思い浮かべますか。「これ以上は無理だ」と感じる瞬間や、「もう頑張れない」と思うときかもしれません。人は誰も、自分には限界があると感じる瞬間があります。しかし、その限界は本当に自分の限界なのでしょうか。

そんなふうに問う私も、中学生の頃はすぐに「ああもう無理だ、限界だ」と様々なことを途中で投げ出してしまうことがよくありました。例えば、定期テストの学習では分からない問題が出てきたとたん、すぐにあきらめてしまい、気付くと漫画を読んでいた、そして、学習時間より娯楽時間の方が長くなってしまったということがありました。そんな調子ですから当然点数は目標に届かず、「自分はこんなものだ」とあきらめが加速し、負のスパイラルに陥りそうな状態でした。しかし、人生には「正念場を迎える」場面が幾度か訪れるものです。私の人生の初めての正念場は高校入試でした。「自分の人生がかかっている」「誰の助けも借りられない、誰のせいにもできない、自分でやるしかない」と考えたとき、「全力で取り組むより他にない」と腹をくくりました。そんな経験を経て、それ以降の数々の「正念場」をなんとか乗り越えて今があります。「あのとき全力でやりきれたから、今回もやれるはずだ」と、初めて全力で頑張った過去の自分が、未来の自分の背中を後押ししてくれました。

「努力は裏切らない」という言葉があります。この言葉を懐疑的にとらえる人は、「努力をすれば、必ず目標を達成できるわけではない」と言います。確かにその通りです。しかし、先に述べたように、全力を出し切り頑張れたことが、未来への自信になることがあります。また、誠実に全力で努力する姿を、周りの人が賞賛、応援してよりよい方向に導いてくれることもあります。

全力を尽くして努力をしても、成果が現れるにはかなりの時間を要します。例えば、学習面では学習した成果は数ヶ月後に現れると言われていています。「未来は、今何をやっているかで決まる」のとおり、あきらめず、全力で粘り強く物事に取り組んでみましょう。



夏休みが終わってすぐに定期テストがあります。皆さんの学習の「全力を尽くす姿」を期待しています。

2学期のスタートです

8月27日(火)の始業式で、各学年の代表生徒が2学期の抱負を発表してくれました。

1年2組 須貝明翔

僕が2学期頑張りたいことは、2つあります。

1つめは、勉強です。1学期の時に、初めての定期テストがありました。その時には、自分の目標だった点数は取れましたが、これではまだまだだめだなと思いました。もっと点数を上げるために、苦手な教科、定期テストで良い点数を取れなかったものを勉強しようと思いました。特に英語と社会を勉強しようと思いました。

2つめは、健康に生きることです。毎日早く起きる、早く寝るということは、健康に生きるために大切なことのひとつと言えます。それがあまりできていなかったのが、直そうと思いました。1学期は、早く寝ることができていなく、授業の時に毎日眠くなっていて、授業をまともに受けられていませんでした。だから、2学期は眠くならないように11時になる前には寝て、健康を維持しようと思います。

2年1組 須貝 后禾右

私が2学期に頑張ることは2つあります。

1つ目は部活です。3年生が引退し、1年生と2年生の新チームで活動が始まり、私は副部長になりました。部長のサポートをしながら、副部長としての役目を果たし、少しでもチームに貢献できるように頑張りたいです。

2つ目は漢字検定です。2学期の漢字検定では3級にチャレンジしようと思っています。日頃から予習・復習を心がけて目標を達成できるように努力していきたいです。

もう少して第2回定期テストが行われます。残りの期間を無駄にすることなく、積極的に学習に取り組み、悔いのない結果を残せるように頑張りたいです。

3年1組 高橋 真琉

僕が2学期に頑張りたいことは2つあります。

1つ目は、3年生にとって最後となる様々な行事を精一杯頑張ることです。その中でも特に体育祭には気合いが入っています。今年が中学校で最後の体育祭なので、最高の思い出を残せるように、どんなに暑くても、競技も応援も全力で楽しめるように頑張りたいです。また、僕は3年間モザイク画を担当してきたので、その楽しさを1・2年生にも伝えながら、全校の皆さんや先生方、保護者の人にも楽しんでもらえるような作品を作れるようにしていきたいです。

2つ目は、テストです。3年生は定期テストと実力テストの2つがあり、1つ終わったらまたすぐに先生に聞いたり、友だちに助けてもらったりしながら、受験に向けて1つ1つ努力していきたいです。そして、すべてのことに悔いを残さないよう、色々なことに積極的に取り組んでいきたいです。

少年の主張大会～わたしの主張～ 村上・岩船地区大会

8月21日(水)、村上市教育情報センターで行われた少年の主張大会に、当校を代表して3年生の佐藤萌加さんが出場しました。合唱発表会の取組の中で考えた「個性を認め合うこと」の大切さ。そこから、見つめ直した自分の生き方について、堂々と発表しました。

あなただけの色、私だけの色

佐藤 萌加

私たちの身の周りには、様々な色がある。同じ色は、一色も無い。だが、一色一色全てに違った魅力がある。人間も同じように、一人一人が他の人にはない魅力を持った、かけがえのない存在である。

それなのに、世界では今でも、争いが続いている。一人一人の個性や考え方は異なるので、意見が対立してしまうのは、仕方がないことだ。だが、その個性を認め合うことなく、相手の意見を聞こうともせず、武力という形で、無理矢理自分の意見を押し通そうとするのは、あってはならないことだ。

それは、相手の色を認めず、自分の色に塗りつぶすのと同じことだ。そうやって、完全に上から塗りつぶすのではなく、少しずつ、混ざり合っていけばいいのではないだろうか。そうすれば、新たな色が生まれる。それこそが、個性を認め合い、お互いを受け入れ合うということではないだろうか。色には無限の組み合わせがある。私たちも、相手と認め合うことができれば、自分の新しい一面にも気づくことができるのではないだろうか。だからこそ、私はお互いに個性を認め合うことは、大切だと考える。

とはいつても、お互いの個性を認め合うことは難しいことだ。私自身も、何度もクラスメイトと衝突したことがある。

昨年、合唱発表会に向けて、私たちのクラスは合唱の練習をしていた。私は、アルトパートのパートリーダーだった。その曲は、アルトだけで歌う場所があったので、私は張り切っていた。しかし、実際に合唱をしてみると、アルトの他のメンバーの声が、あまり聞こえない。さらに、練習中に私語をしている人もいて、私はあせった。私一人が大きい声を出して歌うのでは、合唱とは呼べない。

悩んだ私は、先生に相談してみた。そのとき私は、「それは良くないね」という返事が返ってくると思っていたのだ。しかし、先生は、「その人も一生懸命にやっているんじゃない？自分の当たり前を人に押しつけてはいけないよ。」と言ったのだ。

その言葉に私は、ハッとした。私は、自分の理想を相手に押し付けていたということに気がついたのだ。好きなこと、得意なことは人によって違う。だからこそ、一人一人が個性的なのだ。そのことに気づいた日から、私の合唱への考え方が変わった。合唱とは、単に大きい声を出せばよいというものではない。お互いが、お互いの声を引き立て合い、一つの音になるものなのだ。合唱発表会本番、体育館には個性豊かな私たちの歌声がのびのびと響いていた。この体験を通じて、私は個性を認め合うことで、一人一人の個性が輝き、大きな一つのものを作り上げることができると学んだ。つまり、一人一人の個性には無限の可能性が秘められているのだ。

私は将来、教師になりたいと思っている。以前は、誰かの夢を見つける手助けがしたいと思っていた。だが、今はそれに加え、誰かの個性を輝かせたいという、新しい目標ができた。その目標に近づくため、私は今から周りの友達の個性を尊重していきたい。

私たちの身の周りには、様々な色がある。同じ色は、一色も無い。だが、一色一色全てに違った魅力がある。人間も同じように、一人一人が他の人にはない魅力を持った、かけがえのない存在なのだ。

美術で「補色」という言葉を習った。正反対の色はお互いの色を引き立て、鮮やかに見せる効果があるそう。人も、自分とは正反対の個性を持った人と協力しあうことで、自分だけではできなかったことにもチャレンジすることができるのではないだろうか。そうして新しい自分を発見することもできる。

誰かの個性を否定することは、新しい自分自身に出会うチャンスを失うことでもある。だからこそ、わたしたちは自分の個性だけではなく、周りの人の個性も大切にしなければならない。

私たちは一人一人違う個性を持っているが、全員が同じ空を見上げている。誰か一人が特別なのではない。全員が特別なのだ。なぜなら、私たち一人一人が自分だけの個性、自分だけの色を持っているのだから。

体育祭準備頑張っています！

体育祭に向けて、夏休み中も応援、パネル、小道具、モザイク画の各部門に分かれて準備を進めました。当日の生徒たちの活躍を楽しみにしててください。



<体育祭について お知らせ>

先日配付した、体育祭のご案内でお知らせしたとおり、荒天の場合には、9月15日（日）が下関大祭のため、9月16日（月・祝）に順延します。

また、プログラムは天候により一部内容を変更する場合があります。特に、猛暑による熱中症の危険が懸念される場合には、種目をカットするなど、午前で終了（お弁当はなし）します。その場合は、前日にすぐーるで連絡いたします。

健闘の記録

漢字検定	3級：津野 伶介、平田 紳一郎、松田 暖大、山本 哩玖斗 4級：平田 凌久 5級：山本 亜央依
空 手	第64回糸東会全国選手権大会出場（8/17～18） 中学2年生女子組手 2回戦敗退 伊藤 柚愛
わたしの主張	村上・岩船地区大会（8/21） 奨励賞 佐藤萌加

< 9月の主な予定 >

日（曜日）	予 定
2日（月）	放課後学習会
3日（火）	第2回定期テスト（～4日）
5日（金）	預り金振替日、部活動休止日、体育祭活動
10日（火）	生徒会専門委員会、スクールカウンセラー来校日
11日（水）	部活動休止日
12日（木）	生徒朝会、1年生稲刈り
13日（金）	体育祭予行練習・準備
14日（土）	体育祭（荒天の場合は16日へ順延）
17日（火）	振替休日 ※ この週より、冬時程開始 下校 17:35 下校バス 17:45
18日（水）	部活動休止日
19日（木）	教育相談アンケート、合唱実行委員会
20日（金）	教育相談（～10月7日）、3年生PTA親子レク、1・2年生書道教室
24日（火）	いじめ調査、スクールカウンセラー来校日、5・6限人権講演会
25日（水）	3年生単元別整理テスト、合唱実行委員会
26日（木）	学年朝会
27日（金）	部活動休止日、第2回人権教育、同和教育公開授業